

◆佐渡金銀山の情報をお伝えします



佐渡金銀山だより

Sado Gold and Silver Mine Newsletter

推薦実現に

向けた再挑戦

国内推薦を目指して初めて挑戦した昨年は、残念ながら推薦候補に選定されませんでした。その時に国から示された課題の解消に取り組む、再挑戦に向けて3月29日に推薦書原案の改訂版を国へ提出しました。

また、2月には一昨年推薦された「長崎の教会群とキリスト教関連遺産」の推薦取り下げが発表され、関係者に驚きと困惑が広がりました。

長崎も今年の再推薦を目指すという聞いており、そうならば強力なライバルとなることは間違いないと思います。今後、国によるヒアリングを経て7月頃に推薦候補が選定されますが、これまで以上に全力で推薦の実現を目指します。

Sado Gold and Silver Mine Newsletter 第13号 INDEX

- 2 首都圏初開催 世界遺産国際シンポジウム「佐渡金銀山の価値を世界へ」
- 3 ▶「佐渡相川の鉱山及び鉱山町の文化的景観」国重要文化的景観 選定記念 シンポジウム
▶世界遺産セミナー「なるほど! なっとく! 佐渡金銀山の魅力発見」
- 4 海外専門家が佐渡金銀山を現地視察
▶国際産業遺産保存委員会(TICCIH)総会2015で佐渡の発表を行いました。
- 5 金の道サミットin佐渡～歴史あるまちなみを活かした地域づくり～
▶佐渡市マイクロバス 佐渡金銀山ラッピングバスにリニューアル
- 6 佐渡金銀山世界遺産登録推進県民会議会員の登録へ向けた取組の紹介
▶「佐渡を世界遺産にする会」が一般社団法人に
- 7 佐渡金銀山現地ツアー(西三川砂金山)
▶平成27年度 佐渡金銀山世界遺産講座(上越)
▶小学生が調べた「金の道」
- 8 平成27年度の活動状況
▶平成28年度の活動スケジュール

Vol.13
2016.3.31

「佐渡金銀山の価値を世界へ」

平成27年10月18日(日)、イイノホール(東京都千代田区)で世界遺産国際シンポジウムを開催し、首都圏在住の佐渡出身者を中心に463名の参加をいただきました。シンポジウムでは、米国よりお招きした産業遺産の専門家、パトリック・マーチン氏や日本イコモス国内委員会委員長の西村幸夫氏による基調講演に続き、「世界遺産候補・佐渡金銀山の未来を考える」と題し、佐渡金銀山の価値や遺跡の保全・整備及び活用についてパネルディスカッションを行いました。

また、オープニングでは、首都圏の芸能団体「若波会」が、相川音頭・佐渡おけさを披露し、会場を大いに盛り上げました。

なお、シンポジウムに先立ち、パトリック・マーチン氏とクリストファー・ヤング氏は、佐渡を現地視察し、第16回佐渡金銀山世界文化遺産学出委員会にも御出席いただきました。

◆講演

「産業遺産の世界遺産登録の状況」

パトリック・マーチン氏

(国際産業遺産保存委員会(TICCIH) 会長、米国)



これまで、TICCIHの活動はヨーロッパ中心で行われてきたがこの数年間、意識的に矛先を変えてアメリカさらにアジアに目を向けようという改革が進められている。世界遺産に関しては、TICCIHは、ユネスコの世界文化遺産に対して助言をする機関、イコモスと協力関係にあり、推薦活動を支援しているだけでなく、専門家として推薦に必要な評価や実際の視察に関しても支援を行っている。佐渡に関しても言えることだが、産業遺産には大きな価値があることを多くの人々に知ってもらうため、関連する団体と協力しながら正しい情報を揃え、質の高いストーリーを展開していくことが重要である。

◆講演

「佐渡金銀山の世界遺産としての価値」

西村 幸夫氏

(日本イコモス国内委員会委員長、東京大学先端科学技術研究センター所長)



佐渡金銀山は、約400年に渡る各時代の金生産の歴史があり、非常に初源的な技術から近代的で大規模な採鉱・選鉱・製錬の仕組みまでの技術の集合体良好に残る遺跡等で確認できる。またそれを支えた社会の営みを示す集落などが残っていることで、遺産の全体像を知ることができる。技術だけではなく、それを支えた人々も対象となるという遺産に対する新しい見方が我々に求められているし、理解することによって佐渡金銀山がもっと魅力的で意味あるものになる。

◆パネル・ディスカッション「世界遺産候補・佐渡金銀山の未来を考える」

パネリスト…パトリック・マーチン氏、クリストファー・ヤング氏(前イングリッシュ・ヘリテージ国際政策担当責任者、英国)、岡田保良氏(学術委員会委員、国士舘大学イラク古代文化研究所教授)、小風秀雅氏(お茶の水女子大学大学院教授)、西村幸夫氏

コーディネーター…稲葉信子氏(筑波大学大学院教授)



ヤング氏

これまで4回佐渡を視察しているが、6年の間に推薦をするためのコンセプトが明確になり、構成資産が決定され、産業遺産の中に生活社会を組み込むという全体像が出てきた。来訪者にも佐渡金銀山のストーリーが分かるような解釈が明確になったことは今後の推薦に大きな力になる。



マーチン氏

佐渡は、長い歴史を持ち、様々な構成要素の幅が広いこと、そして遺跡の保存状態が非常によく残っている。更に素晴らしいのはそれらを単体ではなく一つの系統、全体のシステムとしてストーリーを打ち出す事が出来るという点にある。



小風氏

技術史の点において重要な要素の1つは、誰が鉱山ごとに異なる採鉱に必要な技術を組み合わせ、最適な採鉱システムというものを作り上げたのかということである。佐渡金銀山の場合、政府直営



岡田氏

佐渡金銀山の課題として、近代遺産の遺構をどうやって保存管理していくか。具体的には北沢浮遊選鉱場のような特にコンクリート構造物を今後どのように維持していけるのか、その手法はどのようなものなのかを解決していく必要がある。



西村氏

最終的な推薦書は英語のため、英語で正確に佐渡金銀山の価値が伝わるようにしなくてはならない。世界遺産の審査には、推薦書のみで評価をする”ディスクリビューア”もいるため、専門家などに助言を頂きながら、英語として、誤りなく、コンパクトな表現で正確に伝わるようにする必要がある。

国重要文化的景観 選定記念 シンポジウム

平成27年11月1日(日)、国史跡「佐渡奉行所跡」に復元された御役所の建物を会場に、シンポジウムを開催しました。10月に相川市街地が「佐渡相川の鉱山及び鉱山町の文化的景観」として国重要文化的景観に選定されたことを記念したもので、国内の専門家を講師に招き、基調講演やトークセッションをおこないました。



「佐渡金銀山世界遺産登録祈念茶会」(相茶会)



シンポジウム(御役所・地方役所)

また、当日は「佐渡金銀山世界遺産登録祈念茶会」(相茶会)がシンポジウムと共同で開催され、奉行所の各部屋では佐渡金銀山や相川に関する展示などもおこない、1日佐渡奉行所デーとなりました。

世界遺産セミナー「なるほど!なっとく!佐渡金銀山の魅力発見」

平成28年1月31日(日)、朱鷺メッセのマリンホールにて、世界遺産セミナー「なるほど!なっとく!佐渡金銀山の魅力発見」を開催し、約270名の方々に来場いただきました。

まず、県文化行政課世界遺産登録推進室の吉田参与が、「世界遺産候補佐渡金銀山の見どころ」と題して、講演を行いました。

次に、五泉市立五泉小学校の児童の皆さんから、佐渡の修学旅行で体験したことや調べて分かったことなどをガイドブックにまとめ、下級生に紹介した取組について発表をしていただきました。また、佐渡市立相川中学校の生徒からは、ビデオレターで、平成18年度から行っている、佐渡奉行所周辺の観光ボランティアガイドの取組の紹介がありました。参加者からは、「ハキハキと発表した児童の姿に大変好感が持てました。」「佐渡の将来を担う子供たちからよい刺激を受けました。」との感想が寄せられました。



トークショーの様子

当日はこのほか、相川金銀山が発見された時の史実を基に作成した紙芝居の披露や、新潟お笑い集団のN A M A R Aと佐渡のブリカツくんを交えたトークショーなどを通じて、参加者に佐渡金銀山の魅力を楽しく分かりやすく紹介しました。



紙芝居の絵を描いていただいた黒井健氏



五泉小学校の学習発表

海外専門家が佐渡を現地視察

平成27年9月30日、10月1日の両日、フランスからミシェル・コット氏をお招きし、現地視察を行いました。コット氏は土木遺産、産業遺産がご専門で、イコモスの上席調査員として、世界遺産の推薦書審査と現地調査（イコモス・ミッション）に携ってこられた方です。今回の現地視察は、イコモスがどのような評価を行うかという視点からのご指導をお願いしたものです。

事前に佐渡金銀山の推薦書原案を読んでいただいた上で、推薦書の内容に沿って現地を確認していただきました。構成資産の範囲、個々の資産の現状や保存・活用方針について助言をいただきました。

また10月2日には新潟県庁にて、今回の現地視察



に基づいて意

見交換を行い、推薦書作成の留意点や佐渡金銀山の推薦書原案に対するご意見をいただきました。

コット氏の豊富な経験に裏づけされた指摘や助言はたいへん的確で、ユネスコへの推薦書提出にむけた今後の作業や推薦書の審査過程について理解を深めることができました。また資産の修復や活用の先進事例について多くの情報をいただくことができました。



国際産業遺産保存委員会
(TICCIH) 総会2015で

佐渡の発表を行いました。

3年毎に開催される国際産業遺産保存委員会の総会（TICCIH）が平成27年9月にフランス・リール市で開催され、県・市職員3名が参加してきました。リール市は、ベルギーとの国境に近いフランス北西部にあり、近郊には「ノール・パ・ド・カレーの鉱業盆地」として世界遺産に登録された炭鉱地帯が広がっています。会議には世界各地から200名以上の産業遺産の専門家が参集し、講演のほか、産業遺産の保存や活用に関する様々なテーマの分科会に分かれて事例報告と討論が行われました。県推進室吉田参与が「管理と発展」分科会において、約30名の聴衆を前に佐渡の資産の概要・価値、コンクリートや鉄など近代化施設の保存に向けた課題について発表しました。佐渡の資産が直面する保存に関する課題は、世界各国の産業遺産でも共通したものであり、地道な取組が必要であることを他の事例報告や専門家の方々とのお話を通じて改めて感じました。今後も、こうした会への出席を通じ、産業遺産の最新の保存技術や他事例の研究を行うとともに、各地の専門家と交流して情報の収集と共有に努めていきたいと考えています。



英語による佐渡の発表



カレー地方の炭鉱の風景
(巨大なボタ山が目を引く)

初!スペイン語で「佐渡鉱山の遺産群」が紹介されました

国際産業遺産保存委員会（TICCIH）メキシコの主催する「ラテンアメリカの産業遺産の保存に関する国際セミナー」で事例報告した論文がスペイン語で刊行されました。英語での寄稿はこれまでいくつか行ってきましたが、スペイン語の論文集への掲載はおそらく初のこととなりますので、スペイン語圏からの熱い(!?) 問い合わせが増えることを期待しています。



金の道サミットin佐渡 ～歴史あるまちなみを活かした地域づくり～

平成27年11月7日(土)、新潟県内外の10自治体（出雲崎町・柏崎市・上越市・妙高市・長岡市・燕市・魚沼市・南魚沼市・千曲市・佐渡市）、佐渡市内民間団体、一般市民を交えて、約170名にご参加いただき、「金の道サミットin佐渡～歴史あるまちなみを活かした地域づくり～」を開催しました。

このサミットは、「金を中心とする佐渡鉱山の遺産群」の世界文化遺産登録への活動を契機に、佐渡を基点とする江戸までの金銀輸送路を「金の道」と名づけ、北国街道・三国街道・中山

道沿いに宿場がある新潟県・長野県・群馬県・埼玉県・東京都の自治体が一体となって、それぞれの文化資源を活用した地域間交流を図ることを目的に開催しました。

当日は、「歴史あるまちなみを活かした地域づくり」をテーマに、第1部では、景観保全等が専門の池邊このみ千葉大学大学院教授の基調講演や、新潟県立羽茂高等学校郷土芸能部の生徒に佐渡民謡を披露していただきました。第2部では、佐渡市立相川小学校6年生の児童による佐渡金銀山学習「ぼくらが伝える黄金伝説」の発表に続き、自治体の代表によるパネルディスカッションが行われ、まちの特徴や活動内容、歴史を活かしたまちづくりの課題などの意見交換を行いました。更に、参加10自治体によるサミット共同宣言では、「金の道」関連自治体が一体となって、その周辺地域の文化資源・魅力を再発掘し、連携して地域の活性化を図ることを誓約しました。



佐渡金銀山学習発表（相川小学校6年生）

また、サミットの開催に合わせて11月6日～8日の3日間、佐渡市立佐渡博物館を会場に「甦る黄金の輝き～佐渡小判里帰り展～」を開催しました。

国内でも数点しか確認されていない、「慶長佐渡小判」（個人所蔵）、「元文佐渡小判」（佐渡市所蔵）や、佐渡産の金塊6本などを展示しました。

来場者は、数百年経ても変わらない小判の輝きに驚いていました。



サミット共同宣言の発表

佐渡市マイクロバス 佐渡金銀山ラッピングバスにリニューアル



世界遺産登録に向けた気運醸成を図るため、佐渡市のマイクロバス（本庁）を佐渡金銀山のイラストを施したラッピングバスにリニューアルしました。

ラッピングバスには、佐渡の世界遺産キャラクター「にゃんじー」や佐渡金銀山構成資産の写真がプリントされています。

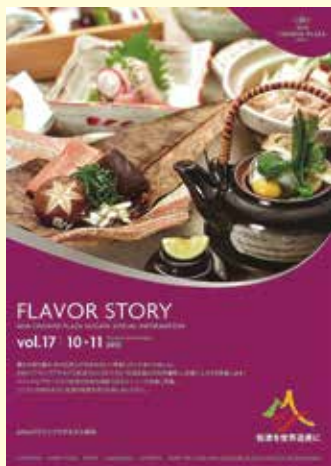
このラッピングマイクロバスは、平成27年8月2日(日)から佐渡市の事業や視察等で利用しています。

佐渡金銀山世界遺産登録推進県民会議 会員の登録へ向けた取組の紹介

平成26年2月の設立以来、多くの県民会議会員から様々な登録へ向けた取組をいただいております。その取組の一部を紹介いたします。

1 ANAクラウンプラザ ホテル新潟

平成27年10月～11月に「佐渡金銀山を世界遺産に」応援フェスタにて、佐渡産の食材を使ったメニューを、ホテル内レストランで提供し、売り上げの一部を佐渡市世界遺産推進基金に寄付しました。



2



2 山崎製パン株式会社

佐渡産の素材を使用した佐渡金銀山ロゴ入りゴッペパンを平成28年3月1日(火)より製造、発売しました。

3



3 キリンビールマーケティング株式会社

「佐渡金銀山を世界遺産へ」応援デザイン缶を平成28年4月19日(火)より発売し、売上1本につき1円を佐渡市世界遺産推進基金へ寄付します。

「佐渡を世界遺産にする会」 が一般社団法人に！

「佐渡を世界遺産にする会」は、平成28年2月21日の臨時総会での可決を受け、4月より一般社団法人となります。

今後は、世界遺産登録に向けて、以前よりも幅広い活動に取り組めます。



「佐渡を世界遺産にする会」の取組の一部「金の道ウォーク」

佐渡金銀山現地ツアー（西三川砂金山）

平成27年10月24日(土)に島内在住の方々を対象に、佐渡金銀山現地ツアーを実施しました。

平成27年度2回目となるツアーは、国重要文化的景観「佐渡西三川の砂金山由来の農山村景観」に選定されている笹川集落を地元の笹川の景観を守る会のガイドにより見学しました。

ツアー参加者からは次々と質問が飛び、ガイドと参加者の会話が弾んだ2時間の散策でした。

今後も地元の団体と連携し、佐渡金銀山の普及啓発活動に取り組んでいきたいと考えています。



平成27年度 佐渡金銀山世界遺産講座（上越）

平成27年11月29日(日)、上越レインボーセンター（上越市中央）にて、平成27年度佐渡金銀山世界遺産講座（上越）を開催しました。当日は、定員を上回る、約160名の方々が聴講されました。

今回の講座は、上越郷土研究会会長の花ヶ前盛明氏から「上杉景勝の佐渡支配」と題し、上杉氏による佐渡攻めの背景や、佐渡での様子などについて、時折ユーモアを交えながら、分かりやすく紹介されました。

参加者からは、「上杉氏と佐渡のつながりが良く分かった。」、「佐渡の金銀が戦国時代の名将の戦力、統治力を支えていたことに驚きました。」など、多くの感想が寄せられました。



小学生が調べた「金の道」

金銀を産出した相川から、それを積み出した小木までの、佐渡の「金の道」を小学生が調べました。今年度は、この往還に校区を持つ7校が自分たちの身近にある、金山に関係する遺跡や建物、言い伝えや、今も大切にされているものなど、直接金銀輸送に関わらなくても、「道」があることで地域がどのように発展したのか、困ったことはなかったのかという視点で地域を調べました。



この成果は佐渡市立佐渡博物館エントランスホールで平成28年1月4日(月)～3月31日(木)まで展示されました。

大人が見ても、なるほど！と驚くような内容がぎっしりでした。皆さんありがとうございました。

平成27年度の 活 動 状 況

年月日	曜日	イベント名	開催場所	
H27	5/10	日	平成27年度佐渡金銀山世界遺産登録推進県民会議総会	朱鷺メッセ
	5/16～17	土日	イオン新潟フェアin埼玉	イオン北戸田店
	5/31	日	佐渡金銀山キレイにし隊	鶴子地区
	6/7	日	佐渡金銀山世界遺産連続講座(第1回)	越後出雲崎「天領の里」
	6/14	日	佐渡金銀山現地ツアー(第1回)	鶴子地区、相川地区
	6/20	土	佐渡金銀山世界遺産登録推進応援シンポジウム	北沢浮遊選鉱場
	6/26	金	佐渡金銀山地域巡回講演会(第1回)	赤泊総合文化会館
	7/18	土	佐渡金銀山世界遺産連続講座(第2回)	村上市教育情報センター
	7/26	日	親子で歩く佐渡金銀山(西三川編)	西三川地区
	8/29	土	佐渡金銀山現地ボランティア活動	西三川地区
	9/12	土	佐渡金銀山地域巡回講演会(第2回)	あいかわ開発総合センター
	9/13	日	佐渡金銀山を世界遺産に!!GoGoフェスタ2015	新潟ふるさと村
	10/4	日	親子で歩く佐渡金銀山(相川編)	史跡佐渡金山
	10/12	月	「佐渡を世界遺産に」応援企画 尾木ママ教育講演会	アミューズメント佐渡
	10/18	日	世界遺産国際シンポジウム	イイノホール
	10/24	土	佐渡金銀山現地ツアー(第2回)	西三川地区
	11/1	日	重要文化的景観選定記念シンポジウム	佐渡奉行所
	11/7	土	金の道サミット	あいぽーと佐渡
11/28	土	イオン新潟フェア	イオンモール新潟南	
11/29	日	佐渡金銀山世界遺産講座(第3回)	上越市レインボーセンター	
H28	1/31	日	世界遺産セミナー	朱鷺メッセ

平成28年度の活動スケジュール 講座・イベント

※詳細は、チラシやホームページ、市報さど、CNS等でお知らせします。

年月日		曜日	イベント名	
H28	5/17	火	平成28年度佐渡金銀山世界遺産登録推進県民会議総会（新潟市）	
	6/12	日	佐渡金銀山キレイにし隊①（鶴子銀山公園）	
	6/19	日	佐渡金銀山現地ツアー（鶴子・相川地区）	
	7/ 2	土	トーキョーゴールドフェスティバル 2016（東京都）	
	7/10	日	親子で歩く佐渡金銀山（西三川編）	
	7/16	土	世界遺産講座（妙高市）	
	8/28	日	世界遺産講座（十日町市）	
	9/10	土	地域巡回講演会①（アミューズメント佐渡）	

年月日		曜日	イベント名	
H28	9/25	日	佐渡金銀山キレイにし隊②（鶴子銀山公園）	
	10/ 1	土	地域巡回講演会②（小木マリンプラザ）	
	10/ 2	日	親子で歩く佐渡金銀山（相川編）	
	10/ 8	土	現地ボランティア	
	10/22	土	首都圏講演会	
	11/12	土	佐渡金銀山現地ツアー（西三川地区）	
	11/20	日	世界遺産講座（三条市）	
	H29	2/ 4	土	世界遺産セミナー（新潟市）

※予告なく変更する場合があります

※予告なく変更する場合があります。

世界遺産登録を目指す「佐渡金銀山」を見学しませんか？

佐渡市民の皆さんが、団体で、「金を中心とする佐渡鉱山の遺産群」の構成資産や学習施設等へ出かけて、佐渡金銀山について学習される場合の、ガイドおよびマイクロバスによる送迎サービスを行っています。

佐渡金銀山を知り、その魅力に触れることができるよい機会ですので、ぜひご利用ください。

対象団体 / 集落・婦人会・PTA等、市内の団体

定員数 / 原則として20人以内

構成資産 / 西三川砂金山跡、鶴子銀山跡、相川金銀山跡、相川の町並み等

学習施設等 / 史跡佐渡金山、佐渡奉行所、相川郷土博物館、佐渡博物館、西三川ゴールドパーク等、学習ができる施設

※ 当該学習で、「佐渡金山」(株式会社ゴールデン佐渡観光施設)を見学する際は、割引料金で入場できます。

※ 佐渡市世界遺産推進課のホームページから、事業要綱および利用申込書をダウンロードできます

(検索キーワード「佐渡金銀山を世界遺産に」)。